



ジェンダー史学会シンポジウム

ポスト「戦後70年」と ジェンダー史

地域のジェンダー実践を思考の手がかりに

日時：2016. **6.26** (sun.) 13:00-17:00

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟 2号館 1階 101 教室 入場無料

*日曜日には、お茶の水女子大学南門は閉まっています。正門からお入りください。

総合司会 高橋裕子 (津田塾大学)

趣旨説明 長志珠絵 (神戸大学)

第1部

司会 / モデレーター 平井和子 (一橋大学非常勤講師)

報告1 高雄きくえ (ひろしま女性学研究所)

「被爆70年ジェンダー・フォーラム in 広島を終えて
——「ヒロシマという視座の可能性」は見たのか？」

報告2 ヴェール ウルリケ (広島市立大学)

「国家と地域を横断する地域の女性運動——広島「デルタ・女の会」

報告3 高橋博子 (明治学院大学国際平和研究所研究員)

「ヒロシマはどこに向かうのか——抑止論にあらがう」

第2部 討論

コメント1 貴堂嘉之 (一橋大学)

コメント2 加藤千香子 (横浜国立大学)

質疑応答

17:00-18:00 茶話会 (500円)